

## はじめに

本市では、平成 29（2017）年 3 月に「海津市第 2 次総合計画」を策定し、将来像「水と緑と人がきらめく 輪でつながるまち 海津」の実現を目指し、5 つの基本目標を掲げ、様々な施策を推進してまいりました。

こうした中、少子高齢化や人口減少の進行に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による人々の生活様式の変化、急速なデジタル技術の進展など、本市を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しています。

この度、「海津市第 2 次総合計画」の前期基本計画が令和 3（2021）年度で終了するため、令和 4（2022）年度からの 5 年間を計画期間とする「海津市第 2 次総合計画後期基本計画」を策定いたしました。

本市では、20 代、30 代を中心とした若い世代の市外への転出が人口減少の大きな要因となっており、「暮らしやすさ」、「働きやすさ」、「子育てのしやすさ」などの様々な面で、若い世代とりわけ子育て世代に選ばれなくなっている現状にあります。

後期基本計画では、「子育て世代に選ばれる まちづくり」を重要な目標と捉え、関連が深い 11 の施策を「海津イレブン」として位置づけました。この「海津イレブン」の推進により、賑わいと活力のある本市の実現を目指すとともに、子育て世代に選ばれるまちづくりを進め、すべての世代にとって「住みよいまち」を目指してまいります。

計画の推進にあたっては、市民の皆さまとともに「オール海津」で取り組み、東海環状自動車道が全線開通する令和 8（2026）年を「ターゲットイヤー」とし、「海津イレブン」の早期実現を目指してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、ご尽力をいただきました海津市総合計画審議会委員の皆さまをはじめ、アンケート調査や市民ワークショップを通して貴重なご意見をいただきました市民の皆さまに、心より感謝申し上げます。

令和 4 年 3 月



海津市長 横川 真澄